

社会への取り組み

社会への取り組み

地域社会の一員として、事業所周辺の定期的な清掃活動や地域の福祉団体への協力・支援などの活動を通して、地域との交流を図っています。

◆障がい者の社会参画協力

◆障がい者雇用の取り組み

大阪地区では、現在10名の障がい者が清掃作業に取り組んでいます。

主な業務は、トイレ・浴場・更衣室・食堂・体育館などの清掃です。また、ゴミ回収や構内緑地の管理なども行っています。

このような積極的な障がい者雇用の推進により、2015年時点で、障がい者雇用率は3.57%（法定雇用率2.0%）に達しました。

これまでの取り組みに対して、2015年9月8日には、障がい者雇用優良事業所として、厚生労働省より表彰を受けることができました。



◇上：主な作業風景と下：芝生のデザイン文字（ようこそタツタへ）

・長期にわたる職場定着を目指し、担当場所ごとに一人のパートナーを設置。

パートナーの極め細やかなアドバイス・指導の元で作業を行っています。

また、より深い人間関係構築の為、支援センター担当者も交えながら、月1回の個別面談を実施。個別の悩みや不安の解消にも努めています。

これからも、障がいに対する理解を深め、知識の習得にもより一層努めてまいります。



左：第10回はたらくくらすフォーラム～共に考える「精神障がい者雇用」～パネルディスカッション、中央：障がい者雇用優良事業所授賞式、右：東大阪精神障がい者ジョブガイダンスでの当社の障がい者雇用に関する取り組み発表

◆地域障がい者団体への支援

また、地域の障がい者福祉団体の資源回収事業に、蓄電池・古紙などの提供を通して、障がい者の社会参画の協力・支援も継続して行っています。

◆バスケットボール教室の開催

弊社のバスケットボールクラブでは、地域交流の一環として小学校に月2回訪問し、ミニバスケットボールチームの指導を行っています。また、昨年度（2015年11月）には、弊社体育館で地域の青少年を対象に第1回タツタ電線ミニバスケットボール大会を開催し、最終日には大阪産業大学と弊社のバスケットボールクラブによるエキシビジョンゲームも行われました。



◇白熱した大会のゲーム風景です。

◆美化活動

社員による、事業所周辺の道路を中心にゴミ拾いや雑草刈りなど、清掃活動を定期的に行っています。

2015年度に実施した清掃活動の様相



◇大阪地区（11月）

◇京都工場（7月）



◇タツタテクニカルセンター（11月）

◇仙台工場（4月）

◆「森の町内会」への参画

紙は、会社の仕事に欠かせないツールですが、その原料は主に木材です。そして、仕事に欠くことのできないモノなら、少しでも環境保全に役立てるものを利用しようとのグリーン調達の方針から『森の町内会』の活動に賛同しました。

弊社では、会社概要のパンフレットをはじめ各種の印刷物に「間伐に寄与する紙」の利用による間伐促進費を通して、「岩手の森」「岡山の森」の育成を支援しています。

※「森の町内会」とは、環境NPO・オフィス町内会 殿が推進している活動の一つで、日本の森林の適切な間伐と間伐材の有効利用を図り、健全な森づくりを推進している活動です。



◆長田野工業団地「花いっぱい事業」への参加

京都工場がある、長田野工業団地では景観づくりのために、工業団地内の各社従業員の手で「芝桜」の植栽整備が2012年度から行われてきました。

今年度は、植栽後の維持管理を目的に、2015年5月25日、2016年3月15日の2回実施され、タツタからも代表者が参加し、雑草などの草引きを行いました。



◇芝桜とボランティア作業当日の風景



◆グリーンカーテン運動への参加

京都工場のある福知山市では「グリーンカーテン」の町（福知山市民緑のなかまプロジェクト）にすべく力を注いでいます。

昨年度（2015年度）も当社は、省エネ活動（環境取り組み）として、ゴーヤの苗を植え、緑のカーテンで空調室外機を覆い冷却効果を期待しています。



◇見事に生い茂ったゴーヤによる緑のカーテン

◆打ち水活動への参加

この打ち水活動は、夏場のヒートアイランド現象を緩和するとともに環境意識の向上を図ることを目的に、東大阪市が市民や市内の会社・各種団体に、雨水や工業用水を利用した打ち水を実施、呼び掛けられた活動です。

当社の「打ち水活動」は、7月25日（月）～28日（木）の夕方に、各職場からの代表メンバーで大阪地区の西・北側の歩道で行いました。「打ち水活動」では、太陽であつく熱せられた路面温度が打ち水の効果で数度下がり、心なしか歩道を渡るそよ風が心地よく感じられました。



◇社員が大阪地区の外周歩道を打ち水している模様

◆タツタテクニカルセンターと京都造形芸術大学とのコラボレーション事業

エンジニアがめざす、次世代モノづくりに欠かせないものに、豊かな発想力があります。その力を育む一つとして、京都造形芸術大学環境デザイン学科のインテリア展示交流を行っています。

同科1年生には椅子制作課題が与えられ、環境の構成単位として機能し家具常識にとらわれない、新たな発想力を「かたち」として表現した作品を生み出しています。

この事業は、作品をとおして従業員や来訪されるお客様に、発想力の共有を企画・提供しています。



◆防災訓練

2015年5月京都工場において、自衛消防隊による消防訓練を実施しました。

訓練は、除草作業中に枯れ葉が燃え工場へ延焼のおそれがあるとの想定で、火災発見社員による初期消火訓練から始まり、負傷者の搬出訓練・消防署への模擬通報訓練、自衛消防隊による消火放水など、本番さながらの充実したものとなりました。



◇京都工場自衛消防隊による放水訓練の様相

◆エコキャップ運動

本社／大阪工場では、2009年7月から「エコキャップ運動」を展開し、7年目を迎えた今年度は、キャップ寄付個数の累計は25万個を超え、CO₂排出量に換算し1.9t分の削減効果が見込まれます。

エコキャップ運動は、飲み終わった飲料水のPETボトルキャップを本体とは別に回収し「エコキャップ推進協会」に送付し、これを再生利用することでCO₂排出量削減と資源の節約、分別作業に関する雇用の創出、さらにその収益金で発展途上国の医療支援や国内の福祉活動団体を支援する運動です。



◇第19回エコキャップ送付の受領書